

第 1491 回例会報告

平成29年2月2日(木)晴れ

会長挨拶

会長 河西達雄

整理整頓

私くらいの年になると、整理すべき身の不具合は特にありませんが、身辺整理、整理整頓と聞いて、「ギョッ！」と驚いた方は、まだまだ若い方です。40代や50代の方大丈夫でしょうか。

もっとも年配の会員の方で、違う意味で身辺整理、整理整頓を考えている方もいるかもしれません。今「シューカツ」という言葉がはやっています。私たちの知っているのは就職活動のことでしたが、現在は「人生の終わりをより良いものとするため、事前に準備を行うこと、終りの活動と書く終活」が盛んです。私の店にも月に2人くらい葬儀用の写真を撮りに来る方がいらっやいます。これも「終活」という言葉の効用で、以前は「遺影写真を撮りたい」とおっしゃるのは勇気のいることでしたが、「終活」のおかげでずいぶん敷居が低くなりました。小さな写真を無理して大きくしたぼけた写真より、きちんとした写真の方がお別れにはふさわしいと私も思います。

話がそれました。整理整頓の話です。私は、整理整頓が大変不得手で、仕事場の周りはいつも雑然としています。また1日1回は物や書類の置き

場所を見失い「探し物」をしています。この時間が大変もったいなく自分としても「どうしたもんじやろの一」と考えてしまいます。

それでも、雑然さが限度を超えると、突然大掃除を始めます。するとこれにかかる時間が馬鹿にならず、先日パソコンを修理する部屋を掃除した時は2日もかかってしまいました。実に無駄だな一と思うわけです。

同じように先日レターボックスの整理を事務局としてさせていただきましたが、そのごみを分別するついでに自分の机まわりの掃除もしましたが、4時間もかかってしまいました。無駄なことです。

感心するのは、仕事でよく工場へお伺いするのですが、活気のある工場は、たいがい工場内が整理整頓されています。よく考えてみると活気があるないにかかわらず、諏訪地方の工場のほとんどは整理整頓がされています。それは諏訪地方の独特の特長でしょうか。不思議に思うのは、そうした工場や事務所の方は、私的な空間も同じように整理整頓されているのでしょうか。

多分そうだと思います。ますます自分が「困ったもんだ」と思うわけです。

過日、こうした自分の困った性格を雑談で話していましたが、居合わせた娘の友達の女性に「おじさん、持ってきたものは、持ってきたところへ帰す。「元へ!!」簡単なことじゃん」と言われました。

なるほど、その通りで、今週から「あったところに

■出席報告

会員数	37名
出席対象	36名
出席者数	33名
出席率	91.7%
前回修正	86.1%

■ニコニコBOX

5名	27,000円
累計	354,300円
目標額	60万円
達成率	59.1%

■今週のこぼ

三村美咲さん、本日はよろしくお願ひいたします。
近江誠一、河西達雄

1カ月お休みして申し訳ありません。
宮坂陽子

渡邊さん、グローバルファンドによるミンダナオの水道敷設(ふせつ)事業ぜひ実現させてください。

溝口幸二

1分間だけ時間をください。(お子様を授かったといううれしいおしらせでした。)

小笠原仁



戻す」訓練をしています。いったいどこまで続けることができますやら、またご報告いたします。

なお本日、今井高志さんがお見えになるなど、本年最高の出席率で大変ありがとうございます。

また、小笠原会員から「お子様を授かった」とうれしいご報告がありました。おめでとうございます。

◇幹事報告◇

【報告事項】

- 1.2600地区より、地区役員委嘱状が届きました。蒲地整志、小松孝弘、渡邊芳紀の御三方です。後程委嘱状を伝達させていただきます
- 2.ロータリー財団、米山奨学会にご寄付の方に確定申告用の控除証明書が届きました。レターボックスに入れてあります
- 3.2月のロータリーレートは1\$ =116円です

【連絡事項】

- 1.諏訪地域献血推進協議会よりテッシュペーパーが500個届きました。一人ずつ小袋に入れてありますので必ずお持ち帰りください
- 2.国際ロータリーから平和と戦争に関する資料が届きました。必要な方はご覧ください。

【受領文書】

月信が届きました。レターボックスに入れてあります

地区委員委嘱状伝達

2600地区より2017-2018年度地区委員として下記の方へ委嘱状が届きましたので伝達いたしました。



ロータリー財団資金管理会計小委員会 委員 蒲地整志さん
 ロータリー財団補助金小委員会 委員 小松孝弘さん
 国際奉仕委員会 世界社会奉仕委員 渡邊芳紀さん
 以上のお三方です。よろしくお願いいたします

Happy birthday



今月の誕生日は、蒲地整志、西澤賢二、渡邊芳紀、高林一紀の皆さんでした。

第1491回例会

セブ島支援報告

担当 国際奉仕委員会

本日の国際奉仕委員会「セブ島支援報告」は、三部構成で行われました。

一部は、同行いただいた三村会員のお嬢さん美咲さんの卓話。二部は高林委員長の支援報告、三部は渡邊芳紀会員のミンダナオのグローバル補助金を使用した支援の現況報告でした。

セブを訪問して

三村美咲さん

11月セブ島支援の旅に同行させていただきました。事前に考えていたフィリピンのこと、ロータリーのことすべて覆させられてしまう素晴らしい支援の旅でした。

到着したホテルは、日本国内でも珍しいような素晴らしいホテルでした。お伺いした西澤さんの工場では、働かないフィリピン人というイメージがまったくない立派に働く人ばかりでした。そこで見かけたジブニーもロータリーの方が寄付をしたと聞きびっくりしました。西澤さんの工場

で働く人も、ジブニーで働く人もその収入で多くの家族が生活できると聞き、単に金銭を施すのではなく働く場を与える考えに感銘しました。

訪れた学校では大歓迎を受けましたが、子供の目を見て自分が恥ずかしくなりました。誰一人ゆがんだ顔をしている子がいないのです。前向きの姿勢で目上の



人の話をよく聞く本当にいい子なのです。子供たちはみんな音楽が好きで、音楽教育の環境が劣悪なのに、心から鍵盤ハーモニカの授業を喜んでいるのです。

英語の授業もショックでした。お母さんが苦勞して作って子供にあげたコートを、その子供が困っている子供にあげてしまう話でしたが、素晴らしい授業で進めていました。私たち日本人は6年以上の英語教育を受けているのにほとんどの人が英語を話せない現実をどう考えればいいのか、確かにフィリピンの先生は英語の能力が高いのです。

この旅行を通じて、イメージで考えるのではなく交流することの大切さを感じました。

「いつも店で何かロータリーのことばかりしていて馬鹿みたい」と思っていた父へのイメージが変わりました。諏訪湖ロータリークラブの活動は、本当に世の中のためになっていると実感できる旅でした。

セブ島支援訪問

高林一紀会員

セブ島へ11月5日出発した西澤会員 丸山会員 高林 三村一枝さん 三村美咲さん 戸田俊彦さんの6名と11月2日から5日迄ミンナダオ島で支援活動をしてきた溝口会員 渡邊会員 長崎会員 古田保子さん4名と6日に合流し9日までセブ島支援活動をしてきました。



セブ島へは5日(土)成田空港9:15PR435便で出国、マクタン・セブ国際空港に13:45入国しました。5時間15分のフライトでした。セブは日本より1時間遅れていますので1時間得した気分になります。

西澤会員とスタッフの出迎えを受け、ホテルにチェックインしその後マクタン島の工場団地にある社員130名の「セブ西澤工業」を見学しました。工場内は実に整理整頓され、社員は真剣に仕事に取り組んでいました。

6日(日)午後、ミンナダオ島訪問組と合流し、セブ島にあるアリタさんの自宅を訪問し支援金を渡してきました。(デイケアセンターがこの日休日のため)デイケアセンターは幼稚園に行けない貧困層の3才~4才児の為の保育施設で、語学や道徳など基本的なことを教える施設です。高齢になられたアリタさんをご主人が亡くなった後も自費でこの施設を運営されています。

マクタン島に戻りダニロ氏の家で鍵盤ハーモニカ240台と吸口ホース125本を贈呈用ケース6校に分

け分け梱包しました。18時からマリバコグリルで先生35名 会員・スタッフ13名の48名が参加し、交流会を行いました。ダニロ氏、溝口会員、西澤会員、スタッフに通訳をお願いし先生達と親しく歓談することができました。りんご剥き大会、カラオケ等を行い楽しい交流会になりました。席上マクタン小学校から感謝状を頂きました。長崎さんが「又音楽会ができたらいいいですね」と提案し全員で「手にて繋いで」を歌い解散しました。

7日(月)9時にゴールドバセントラル小学校を訪問し贈呈式を行いました。700人をこえる生徒が出迎えてくれ、生徒の代表が国歌演奏、模範演奏で歓迎してくれました。ゴールドバセントラル小学校、ビリボグ小学校、バングバング小学校、コゴン小学校、カタルマン小学校、イバオ小学校6校に鍵盤ハーモニカと吸口ホースを寄贈しました。

贈呈式のあと、マクタン小学校を訪問し、3年生の英語授業を視察しました。80分間生徒と向き合い熱心に教えていたナネ先生の授業をビデオに収めました。セブでの英語教育は幼稚園(3才から)からはじまり、小学校5年生から基本的に、全ての授業は英語で行われているそうです。

8日(火)午前中に、ブアヤ小学校を訪問し2年生の英語授業を80分間視察しました。ラベリア先生の教室は、先生と生徒が一体となって興味を持たせながら同義語や反意語をわかりやすく教えていました。生徒は大変楽しそうに学んでいるのが印象的でした。ビデオに収めてきました。

午後からダニロ氏の庭の庭を借りてスクワッターへの支援を行いました。

180世帯の貧困家庭に、お米3キロ、缶詰4缶、ヌードル5個入り4パックを袋詰めし配りました。あきらめなのか、他人の幸せを羨むようすもなく、笑顔の彼らに複雑なやりきれない気持ちを抱きました。

11月9日(水)全ての活動を終え、マクタン空港14時55分PR436便にて全員一緒に帰国しました。

ミンダナオ島水支援を目指して 渡邊芳紀会員

2600地区初めてのグローバル資金の獲得を目指して、従来から交流のある「ミンダナオ子ども図書館」地域へ水道敷設事業の準備を進めてきました。

水源確認など、環境はしっかり確認できましたが、グローバル資金は相手国のロータリーの協力が必要になります。前回の訪問の際、現地の3つのロータリークラブを訪問し、直接接触したうえでここなら大丈夫だろうと思い選定した相手クラブでしたが、やはり動きが悪く、今回の訪問で再度接触して、グローバル資金獲得のための準備の協力を要請をしてきました。

今後も頑張っていきたいと思います。